



平成29年11月6日

各 位

上場会社名 ソマール株式会社
 代表者 代表取締役社長 曾谷 太
 (コード番号 8152)
 問合せ先責任者 IRC部長 近澤 美弘
 (TEL 03-3542-2160)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,100	200	210	160	82.36
今回修正予想(B)	11,009	498	504	473	243.52
増減額(B-A)	909	298	294	313	
増減率(%)	9.0	149.0	140.2	195.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	10,524	281	206	202	104.05

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,800	410	430	350	180.17
今回修正予想(B)	20,900	760	770	700	360.40
増減額(B-A)	100	350	340	350	
増減率(%)	0.5	85.4	79.1	100.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	20,941	580	591	511	263.35

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	70	40	20.59
今回修正予想(B)	10,429	377	362	186.69
増減額(B-A)	929	307	322	
増減率(%)	9.8	438.7	806.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	9,910	101	111	57.29

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,400	150	100	51.48
今回修正予想(B)	19,300	480	430	221.39
増減額(B-A)	△100	330	330	
増減率(%)	△0.5	220.0	330.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	19,634	328	264	135.94

※平成29年10月1日を効力発日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度及び前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

当第2四半期(累計)の連結及び個別の業績につきましては、特にスマートフォンなどの電子機器業界向けに当社グループの特長あるコーティング製品の販売が予想以上に好調に推移し、また、自動車部品業界向けの高機能樹脂製品の販売も国内外の堅調な自動車生産を背景に伸長しました。更に、海外事業、とりわけタイ子会社の事業では、電気・電子部品用の特殊高機能樹脂製品の販売が予想以上に増加しました。その結果、かかる自社製品群の好調な販売が連結及び個別の売上高並びに営業利益等の各段階の利益を牽引し、当初の予想を大きく上回る見込みとなりました。

なお、平成30年3月期通期の業績予想につきましては、不確実性を増す国際情勢の中にあつてわが国を取り巻く経済環境が一段と不透明さを増しており、当社グループの業績見通しも極めて難しい状況にありますが、当第2四半期(累計)の連結及び個別の業績予想の修正を踏まえ、通期の連結及び個別の業績予想につきましても上記の通り修正を行いました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上